

注意

一問題は、表と裏にあります。
二答えは、すべて解答欄に記入しなさい。

一次の文章を読んで、1～7の問いに答えなさい。

表合計

合計

次の文章を読んで、1～4の問いに答えなさい。

次の文章を読んで、1～6の問いに答えなさい。

剡子^{げんし}は、親のために命を捨て^Aんとしけるほどの、孝行なる人なり。その故^{ゆえ}は、父母老いて、ともに両眼をわづらひしほどに、眼の葉なるとて、鹿の乳を望^Bめり。剡子、もとより孝なる者なれば、親の望みをかなへたく思ひ、すなはち、鹿の皮を着て、あまたむらがりたる鹿の中へまぎれ入り侍れば、獵人^{かりうど}、これを見て、まことの鹿ぞと心得^{*}て、弓にて射^Cんとしけり。その時、剡子、これは、まことの鹿にはあらず、剡子といふ者なるが、親の望みをかなへたく思ひ、偽^{いつわ}りて鹿のかたちとなれると、声をあげて言ひければ、獵人驚いて、その故を問へば、ありすがたを語る。されば、孝行のこころざし深き故に、矢をのがれて帰りたり。

そもそも、人として、鹿の乳を求むればとて、いかでか得さすべきなれども、思ひ入りたる孝行の、思ひやられてあはれなり。

*すなはち…そこで
*心得て…わかつて

（「御伽草子」による）

1 わづらひを現代仮名遣いに直し、すべて平仮名で書きなさい。

2 本文中のAとCの主語として適するものを、次のAとEからそれぞれ一つずつ選んで、記号を書きなさい。

ア 父母
イ 獵人
ウ 鹿
エ 剡子

A

B

C

3 鹿の中へまぎれ入り侍れば とあるが、このときの状況を表しているものとして適するものを、次のア～エから一つ選んで、記号を書きなさい。

ア 鹿の群れにいつの間にか迷い込んでいる

ウ 鹿の群れの動きに気を取られている

工 鹿の群れがなかなか見つからない

4 ありすがたを語る とあるが、刺子は鹿のまねをした理由をどのよう
に語ったのか。解答欄にしたがって、**十五字以内**で書きなさい。

父母が両眼を病んでいるので

から

5 本文中における剝子の行動に最も近いものはどれか。次のア～エから一つ選んで、記号を書きなさい。

ア
海老えびで鯛たいを釣る

イ
馬子まごにも衣装

ウ 虎穴こけつに入らずんば虎子こじを得ず

工 長いものには巻かれろ

6 本文には筆者の感想が書かれている箇所がある。その内容を次のようにまとめた。「a」には二字で適する語句を書きなさい。また、「b」には二字で、「c」には五字で当てはまる語句を、本文中からそれぞれ抜き書きしなさい。

筆者は、剋子は人間であるのだから、鹿のように行動することは、本来は「a」なことであるのに、そうせずにはいられない剋子の「b」の心を、「c」と感じている。

| | |
|---|--|
| a | |
| b | |
| c | |